

第10回 日本骨格筋電気刺激研究会 学術集会

2024年11月9日 (土)
会場：AP東京丸の内

オンデマンド配信いたします
2024年11月18日～12月20日 (予定)

第10回 日本骨格筋電気刺激研究会学術集会
会 長

竹下 克志
(自治医科大学 整形外科 教授)

演題募集：2024年6月 (予定)
参加受付：2024年9月 (予定)



※詳細は当研究会ホームページにてご確認ください
※情報は予告なく変更になることがあります。

↑
↑
INTO
THE NEXT
DECADES

会長挨拶

竹下 克志

(自治医科大学 整形外科 教授)



この度、第10回日本骨格筋電気刺激研究会学術集会を担当させていただきます
自治医科大学 整形外科の竹下克志です。大変光栄に存じます。

第10回日本骨格筋電気刺激研究会学術集会を、2024年(令和6年)11月9日(土)
にAP東京丸の内にて開催させていただきます。

本研究会も2014年の織田弘美先生の第1回目から11年目となります。
B-SESを始めとする電気刺激療法は運動疾患と神経疾患への適用に留まらず、
救急医療、循環器、呼吸器疾患など幅広い分野での効果が分かってきました。
その業績は「B-SES症例・エビデンス集」として多くの皆様のお手元に届いている
かと思いますが、その拡がりには驚くばかりです。

そこで今回のテーマは「B-SESの今後の10年を見据えて」といたしました。
これまでの知見を基に、さらなる発展を遂げるスタートとしての学術集会と考えます。
多くの皆様の最新の成果をご発表いただければ幸いです。

また、特別講演では運動器疾患を見据えつつ、幅広い演者に各方面での発展を
ご披露いただく予定です。

なお、ポストコロナ時代を迎え、オンライン、特に学術集会後の配信はデジタルの
利点として残しますが、現地での会合や討論を主眼に進めていただければと
存じます。

日本骨格筋電気刺激研究会の活動について

本研究会は「ベルト電極式骨格筋電気刺激法」が生体に及ぼす影響を研究しています。
年に一度、新しい知見の発表や研鑽の場として、学術集会を開催しており、特に優れた演題に
ついては優秀演題賞を設け表彰しております。

2024年2月にはB-SESに関連した海外論文や国内ジャーナル等をまとめた「B-SES症例・エ
ビデンス集」を作成いたしました。会員には有効的なB-SES活用のための「B-SES使用方法の手
引き」を配布しております。会員受付は随時行っておりますので、当研究会ホームページより
お申込みください。

